

経
済
学
会
記
事

学会も順調なあしどりで発展し、発足二年目を迎え、すでに機関紙も本年度三集を江湖におくり出した。会員も、一躍二千人に近い大世帯になり、学会の活躍が一層の期待をもつて目されることになった。まことに学会の将来にとって、同慶といふべきである。このような現状に呼応して、六月十三日学会発足第一回の総会が研心館大講堂で催された。熱心な学生諸君・及び一般会員の終始などやかな参集のもとに、会長の挨拶・学会の経過報告・学生委員の選出を行い、総会行事として、左に記すような学術講演・映画鑑賞の機会をつくりえたことは、会員一同の学問的雰囲気の新にするものがあったであらう。左に総会の内容を附記しておこう。

立命館大学経済学会総会（第一回）

場所 立命館大学研心館大講堂
日時 六月十三日（土）
第一部
一、講演会

立命館大学 大山敷太郎氏
教授 経 博
最近の国際経済問題につ
いて
元京大教授 松岡孝児氏

第二部

一、映画会
フランス映画「悪魔の美しさ」

経商研究会例会報

第二十九回（六月二日）

連関財について

第三十回（六月十六日）

税務会計に関する一考察
—デイダックシヨンを中心として—

資本主義と革新原理
—シユムペーター学説をめぐって—

第三十一回（六月三十日）

銀行の社会的機能について

山田 邦 臣

高尾 忠 男

浜崎 正 現

小牧 聖 徳

社 会 見 学

昨年は、教師と学生が行動をともにし、現地に即した教授をうけるべく多彩な社会見学をなしたのであるが、本年は左の見学のみで前期セメスタを了えることになった。

第七回（六月二十日）新三菱重工業K・K京都製作所

(II)